



#### 【高藤選手、見事優勝！リオ五輪への大きな布石に】柔道グランドスラム東京2015 応援観戦のご報告

▼IJFワールド柔道ツアーの一環として、国際柔道連盟(IJF)の主催により開催されている国際柔道大会である「柔道グランドスラム東京2015」が、12月4日(金)に東京体育館で開催されました。

本大会は、かつて日本で開催されていた伝統あるふたつの国際大会である男子の「嘉納治五郎杯 国際柔道大会」、女子の「福岡国際女子柔道選手権大会」が合わさる形で2007年に創設された、日本唯一の国際大会「嘉納治五郎杯 東京国際柔道大会 ワールドグランプリ」を前身とし、2009年に国際柔道連盟(IJF)がワールドツアーとして整備、名称もIJFのツアーズグレードに合わせた「グランドスラム東京」に変更されたものです。

グランドスラムとしてワールドツアーの一戦となったことにより、それまで以上に世界の強豪が多数参戦する大会へと生まれ変わり、オリンピック代表選考に大きな影響を与える大会となっています。

本大会の出場選手には国内ポイントで50ポイント、さらに優勝選手にはIJFランキングで500ポイントが与えられ、来夏のリオ五輪での日本人選手出場権獲得および代表選手選考のうえで欠かすことのできない重要な位置付けとなっています。

本会も、大会の優勝候補最右翼として60kg級に出場する高藤選手を現地から応援するために会員の中から有志を募集し、高藤選手のご親族・ご親戚



◇ 白熱する試合の連続に、観客席の熱も上がります。◇



◇ リオ五輪を見据えた価値ある功績となりました。◇

を合わせて総勢58名によって大会会場へ観戦に向かいました。  
高藤選手は、準々決勝に2013リオ世界選手権準優勝ダシダヴァー・アマツブシン選手(モンゴル)、準決勝にIJFランキング1位のキム・ウオンジン選手(韓国)と対決するなど厳しい戦いが続くかと思われましたが、その圧倒的な実力でそれら世界の強豪を打倒。そして決勝戦では、2014チエリヤビンスク世界選手権において惜敗を喫したベスラン・ムドラノフ選手(ロシア)との対決となりました。

高藤選手はまず右袖釣込腰による技ありを獲得、続いて左大内刈りからの2本目の技ありを獲得し、合技の一本勝ちによって見事優勝を勝ち取りました。

- 優勝 高藤直寿 選手(日本)
- 準優勝 ベスラン・ムドラノフ 選手(ロシア)
- 第3位 志々目徹 選手(日本)
- 第3位 キム・ウオンジン 選手(韓国)

この大会の結果により、高藤選手のIJFランキングは大会前の8位から1位へ急上昇(総計2066ポイント)、同じランキング上位の日本人選手である志々目選手とは600ポイント以上の差をつけています。去る10月に、グランドスラム・パリにおいて高藤選手が優勝を果たしたことは記憶に新しいところではありますが、今回もまたそれと同様、あるいはそれ以上にリオ五輪への出場のための大きな躍進となったことでしょう。